

# 小学3年2組 社会科学習指導案

指導者 藤原良平

## 1 単元名 今と昔 どうして暮らしの様子が変わっているのだろう ～古い道具と昔の暮らし～

### 2 単元のねらい

古い道具の特徴や変遷，それに伴う人々の生活の変化について具体的に調べ，過去の生活における人々の知恵や工夫，古い道具に込められた人々の願いと現在の生活とのつながりについて考えることができる。

### 3 授業構想

(1) 以下に示すふりかえりは1学期「わたしたちの市のようす」の学習で，まちの様子の違いについて話し合いを行った時間の学習のまとめとして振り返ったものである。

今日，社会科がありました。バス探検で行った第1ポイント（浜佐陀）と第5ポイント（東松江）のまちの様子が違う理由を考えました。東松江に工場が多いのは，近くに駅があるからだと思います。電車を使って，工場で使う材料が運べるからです。また，工場で作った物も遠くの町に早く運べます。近くに海があるから船でも荷物を運べます。ここは駅や港が近くにあって材料や荷物を運びやすいから工場が広がっているんだと思います。（児童A）

この単元の学習では，前単元「わたしたちのすむまち」で行った学び方を生かし，実際に自分の目でまちの様子をつかむため，バスを利用したまち探検に出かけた。また，それぞれのまちの様子が違う理由について考える際には，地形や交通，人の生活の様子など，自分が調べた事実と関連付けながら話し合う活動を繰り返し行った。問題解決をしていく際には，実際に体験をすることや事象を比較・関連づけて考えることで社会的事象の意味をより多面的に理解するという経験を積み重ねてきている。

本学校園社会科部では「社会的な見方・考え方を働かせながら，問題解決をする力」を身につけさせたい資質・能力として掲げ授業実践を行っている。この単元で見られたように，体験や調査活動によって得たことをもとに，それらを比較・関連付けたりしながら，見いだした問いについて主体的に追求し，問題解決をする姿を大切にしたい。

本単元は古くから残る暮らしにかかわる道具，それらを使っていた頃の暮らしの様子について学習する。子どもにとって初めて出会う歴史学習であり，時間軸的に現在と離れた学習内容となる。これまでの学習内容に比べイメージをもちにくく，難しいといった感想をもつことが予想される。そこで，学習を進める上では，古い道具の中でも子どもにとって身近なものに出会わせる工夫や，自分の両親や祖父母に話を聞くこと，実際に道具を使うといった具体的な調査・体験活動を大切にする。また，学習を通して道具の変遷だけでなく，それに伴って地域の人々の生活がどのように変化していったのか考えることができるようにする。そして，地域の人々の生活の変化や道具に込められた願いを考えることを通して，自分たちの生活が祖先の努力や工夫の上に成り立っていることに気付き，祖先や地域の人々への思いを馳せることができるような姿を目指したい。

(2) 先に述べた子どもの姿を目指し、本単元では以下のような手立てを工夫する。

○社会的事象の見方・考え方の基礎を獲得するための工夫

導入では1930年代と現代の調理場の様子を比べることや、七輪を使った体験活動を行いながら、子どもの問いをもとに、単元を貫く課題を設定し学習を進める。その後、食事、暖房、掃除、洗濯、あかりなどの班に分かれ、調査・体験活動を行う。道具調べカードを使いながら道具の用途ごとに分かれて調べることで、道具の特徴や変化の仕方により注目できるようにする。また、祖父母に道具を使っていた当時の体験談などを聞き、道具の変遷と合わせて年表にまとめる。道具調べカードや年表で、道具の特徴や変遷、くらしの様子に対する気づきを可視化することで、道具とくらしの関係に気付けるようにする。

○社会的な見方・考え方を働かせるための工夫

本時の学び合いの場面では、班で用途ごとに作成した道具年表を比較しながら、道具の変化の仕方の共通点を考える。変化の仕方の共通点を考えることを通して、どのようにくらしの様子が変化していったのか気付くとともに、「くらしをもっと快適に、豊かにしたい」という道具に込められた共通する人々の願いについても考えていけるようにする。また、学び合いの場面の後には、100円ショップに売られている洗濯板を提示しながら、古い道具が現代でも使われている理由について考える。これまでに獲得した社会的な見方・考え方を活用する場面を設定することで、この活動を通して、「昔の人々の工夫や努力が今の自分たちの生活を豊かにしている」ことや「現在の人々が昔の道具に付加価値を付け、くらしをもっと楽しくしている」ことについての気づきを深めていけるようにする。

○視点を明確にしたふりかえりの工夫

ふりかえりの場では、「道具を使った感想や当時を知る人から聞いた話」、「調べてつかんだ古い道具の特徴や工夫点」など、調査・体験活動で得た気づきを大切にする。また、本時で「道具の変化によって、人々のくらしがどのように変わったのか」というめあてに対して振り返る際には、「めあてに対して自分が考えたこと」、「自分の考えの参考になった友だちの意見」といった視点を明確にする。単元を通して道具の特徴やくらしについて思考・判断したふりかえりをくり返し行うことで、道具の変遷と生活の変化の関係性をとらえると共に、昔の道具と今の自分の生活との関わりについて考える姿を目指す。

4 展開計画（全11時間 本時10/11）

次	時	主な学習と具体的な学習・内容	◇願う子どもの姿
1	1 2・3	○60年前と今の調理の様子を比べたり、七輪での調理体験をしたりしながら、生活の様子の違いや古い道具に関心をもつ。 ・「60年前の調理の様子」と「現在の調理の様子」、から生活の様子が違う理由について考える。 ・七輪を使った調理体験をしながら、七輪の特徴や工夫について考える。	◇七輪での調理体験から、古い道具の特徴や使い方について考え、関心を深めている姿
2	4～7 8・9 ⑩	○美保関歴史・体験資料館で追体験をしながら古い道具の特徴や変遷の過程、使い方、工夫について調べる。 ・コテアイロンや石臼曳きの追体験、あかりや暖房、洗濯、掃除に使う道具を調べ、古い道具の特徴や生活の様子について考える。 ・古い道具の変遷とくらしの様子を絵カードや年表にまとめる。 ・道具の変化の仕方の共通点を探りながら、どのように人々の生活が変化したのか考える。	◇調べたことや体験したことから、道具の変遷と生活の変化についてまとめている姿 ◇生活の変化について道具に込められた工夫の共通点や願いと関連づけながら考えている姿
3	11	・現在でも古い道具が使われている理由について考える。	◇古い道具に込められた願いと、現代の新たな知恵を関連づけている姿

## 5 本時の学習

### (1)ねらい

これまでの学習でまとめた道具年表をもとに、変化の仕方の共通点を考えることを通して、道具に込められた昔の人々の願いをつかむとともに、人々の生活がより豊かになっていったことについて気付きを深めることができる。

### (2)展開

学習場面と子どもの取り組み	教師の支援と願い・評価
<p>1. 前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯に使う道具を年表にすると、洗濯の仕方がどんどん変わっていることがわかった。</li> <li>生活に使うどの道具を見ても、どれも変化していて、よりよくなっている。</li> </ul> <p>2. 本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までに作成した年表を振り返ることで、道具の変遷とくらしの様子の変化が関連していたことを想起することができるようにする。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">道具の変化の仕方の「共通点」を見つけ、人々のくらしがどのように変わったのかさぐる</div>	
<p>3. 道具の変化の仕方の「共通点」を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魚焼き器はコンロでやるから、七輪の時にみたくに外に出なくていいから「簡単」だ。</li> <li>昔のあかりはろうそくを使っていたけれど、今は電球を使っているし、アイロンも炭から電気になっているから「安全」だ。</li> <li>洗濯機も掃除機も機械でできることが増えているから、より「簡単」になっているな。</li> <li>道具の変化を見ると「もっと楽」、「もっと簡単」、「安全」というところが共通している。</li> </ul> <p>4. くらしがどのように変わったのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「もっと早く・楽・簡単に」というように道具が変わることでくらしもより便利になった。</li> <li>道具が変わることでより気持ちよく（豊かに）生活できるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖房やあかり、洗濯など前時までに作成した道具年表を用途ごとに掲示しておくことで、道具の変遷や当時のくらしの様子がわかるようにする。</li> <li>作った道具年表を用いて、「道具の変化しているところ」と「そのよさ」を班で伝え合うことで、共通点を具体的に見つけられるようにする。</li> <li>道具の変化により、「どんな気もちで生活できているか」尋ねることで、くらしの物的な変化だけでなく、心理的な変化にも気付けるようにする。</li> <li>「なぜ道具の変化に共通点があるのか」、「昔と今で変わらないことはあるのか」を問うことで、「もっとくらしをよくしたい」という変わらない願いがあることについて考えられるようにする。</li> <li>子どもから「今の道具の短所」や「昔の生活の方が豊かだ」という意見が出れば、掘り下げること、くらしの変化への気づきを深める。</li> </ul>
<p>5. 本時を振り返る。</p> <p>道具の変化には「早い」「簡単」、「安全」といった共通点がありました。だから昔と比べてこんなにも生活が便利になったんだと思いました。道具には昔の人の「もっとくらしをよくしたい」という願いが込められていて、今の自分たちの生活にもつながっているということがわかりました。</p>	<p style="text-align: center;">————— 評価の観点（思考・判断・表現） —————</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>人々のくらしの様子がどのように変わっていったのかについて、道具の変化の共通点や、道具に込められた願いを関連付けながら考えている。 【評価方法 ワークシート・ふりかえり】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>100円ショップで売られている洗濯板を提示し、なぜ古い道具が現代でも使われているのか問うことで、次時への追求意欲を高める。</li> </ul>

